

特集号内容

- 2頁～3頁 鶴ヶ城天守閣
ここによみがえる
- 3頁 市長式辞から
- 4頁～5頁 写真特集
- 6頁～7頁 座談会
- 8頁 この日を待ちあぐ
んで
- 9頁～10頁 第2市政だ
より

会津若松

市政だより

204号

昭和40年10月1日発行

発行所 会津若松市

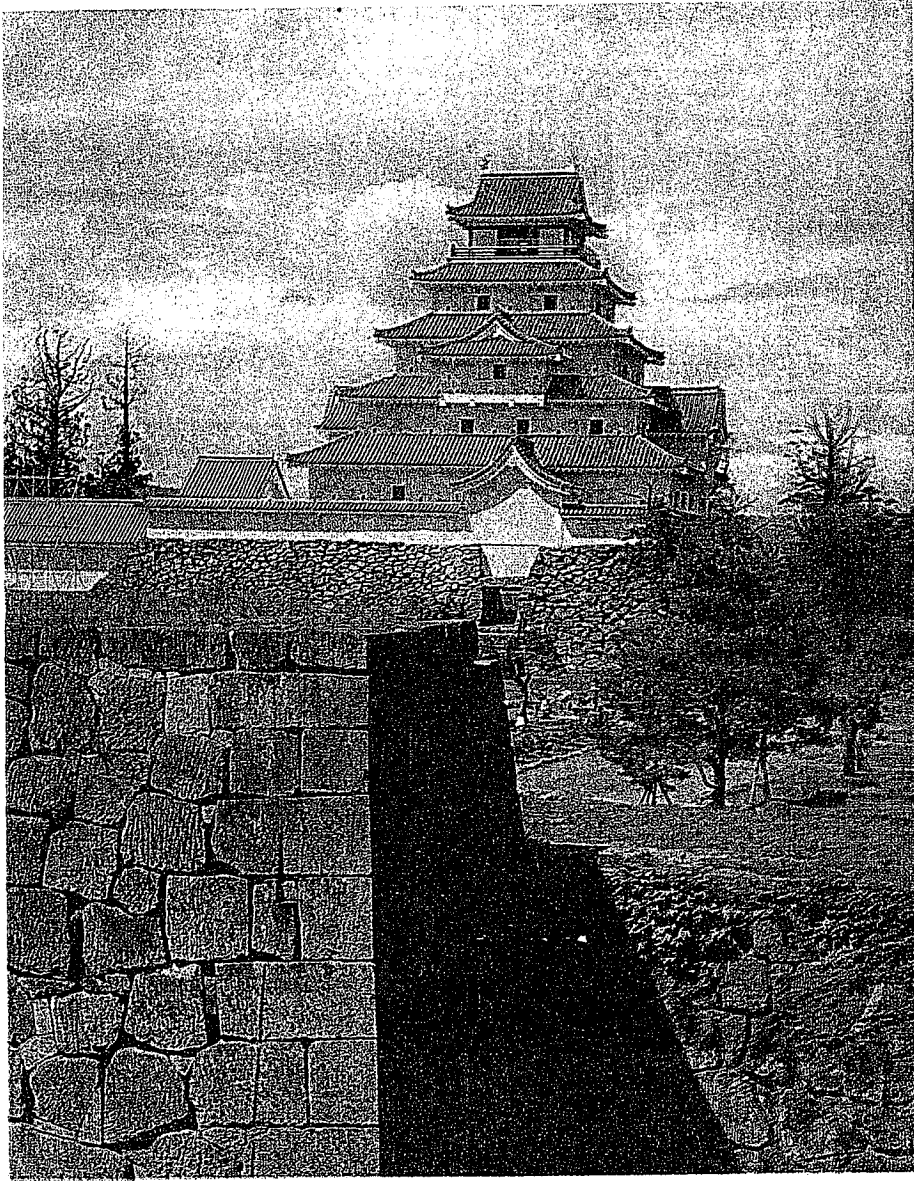
発行人 竹田 正夫

編集 広報係

定価 5円

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

毎月1日・15日発行



として保存しましょう

天守閣竣工特集号

鶴ヶ城天守閣ここによみがえる

九十年の悲願結実

歡喜と感涙に包まれた式場

鐘撞堂の鐘がしずかに午後五時を告げた。花火が、重くたれこめた雨雲をつき破るかのようになり十数発——天守閣落成式は、ここに始まった。

歴史きざむ緊張の一瞬

おごそかに落成式

走り長屋の一角に設けられた式場には、天守閣落成式典実行委員長である横山市長、岸議長始めとする市議会議員、工事担当の神部間組社長、設計指導の藤岡東工大教授など関係者五十名のほか、中村運輸大臣、木村知事および衆・参議院議員からも来賓として参列した。

走り長屋から天守閣に通ずる階段に張られた紅白のテープに、横山市長が緊張した面持ではさみを入れた。ひらめくカメラのフラッシュ・ライト、わきあがる歓声と拍手——それらは、まさしく本市の新しい歴史をささむ瞬間であった。

引き続き参列者は、天守閣一階の中央に立ち上られた祭壇前に着席、雅楽が奏でられる中、神事がおごそかに進められ、修祓、降神の儀、祝詞、四方破について、横山市長が祭文を述べたが、その横顔には天守閣生みの親としての

田法用寺、聖剛力士像、歴勝常寺、光善隆像、高四時頃から千四百人の招待客が詰めかけていた。

世紀の祭典開幕

横山市長感激の式辞

九月十七日の前に大きく立ち上がったのは、台風二十四号であった。横山市にくりひろげられたうち長を委員長とする天守閣落成式典実行委員会の当初のプランは、招待者だけでなく、十方市民の総参加による落成式の実現であった。

しかし、横山市長の執念にも似たすぐれた構想の結末、係員の涙ぐましい努力の端を示すエピソードもすくなくはない。台風二十四号の心なき仕業は、市長を始めとする多くの人々の労苦を黙殺し去ったかにみえた。

けれども、それは単なる禍には終らなかった。雨のため、最初全市民の参加をめざして予定された本丸に代って、祝賀式場にあてられた市民会館には、午後四時頃から千四百人の招待客が詰めかけていた。

会津精神の活用を

中村運輸大臣

ます。会津には魂があります。



頂上に銀のシャチホコが輝いている鶴ヶ城を中心に、白虎隊の精神が躍動して日本国民の心の中に、郷土を愛し、先輩を敬い、正しいことを行なうという大精神が生まれていくという大仕事を、心から国家のため郷土を守るといふ立場に喜びたいと思うのであります。

今から九十八年前、鶴ヶ城を中心に三千の兵士が先輩から受けついで遺徳を守り、郷土を守るといふ立場で大奮戦をしたという歴史、これは日本歴史の中の大きな一コマです。

鶴ヶ城をおおいで悲壮な最後をわがせ全国民の魂をよびよる一つの歴史であります。

九十年前を思い起す時

木村 県知事

といえましよう。



私たちは長い間、天守閣跡や隅ぐら跡に立ち、こすえを渡る松風とともに、荒城の月影をしのび今日に及んだのでありますが、今ここに、在りし日の姿が再現されましたことは、まことに感慨無量のものがあります。

若松城の再現は、会津の観光資源に一段と光彩を放つものであり、これによって、会津若松市は申すに及ばず、本県の観光資源は、一層飛躍するものと信じて

活の磐として、人々の血潮 天守閣取り壊しの日から
を宿し、人々に光と影を投 九十二年、再建に至る経緯と
げかけてきた。その意味で、その意義に言及する横山市
明治七年、時の政府のよこ 長の声は、はかりしれない
しまな政策を露わにした取 感慨にとだえがちであつた
り壊しの命は、会津人にと が、会場にどよめく拍手は
って戊辰戦争の敗北にもま 横山市長の心情に共鳴する
ざる衝撃であつたが、会津 市民の卒直な声でもあつ
人の魂までは奪い去ること た。
ができなかつた

この感激を永遠に

平和と繁栄のシンボルとして

山口建設部長、藤岡博士 白いユニフォームに赤いタ
の苦心談を織り込んだ、工 スキといういでたちの神部
事報告に続いて行なわれた 間組社長の銀鏡贈呈は印象

市民会館の前庭には、こ の輝かしい日を祝う市民が 群がっていた。そこに設け られた市民御神酒場の鏡を 開いて祝う市民の顔は、城 ができた喜びにみちいてい

白亜の天守がくもりと照 出されていた。たな感 概が、潮のように胸にこみ 上げてくる。
昭和四十年九月十七日 は、私たちにとって、新し い歴史を開く記念すべき日 となったといえよう。

最良の出来栄え

東京工業大学教授 藤岡通夫博士

本日では会津の象徴とも思 われる天守閣が落成しまし たこと、市民のみなさまに お祝い申し上げます。あわ せて白虎隊で天下に有名な 鶴ヶ城の設計をさせていた だきましたこと、私一生の 光栄と感ずる次第です。
今度の設計は一応加藤明 成の寛永年間の時代として



鶴ヶ城趾に天守閣復元の 発議がなされて以来、長い 間熱心な論議が行なわれま したが、賛否両論共に鶴ヶ 城に対する愛惜の情より発 したものでありまして、論 議を重ねるにつれ相互の理 命をかけて護ろうとしたも のの象徴としての鶴ヶ城、 ここを訪れる人々が会津魂 の一端を感じ得るような雰 囲気をぜひ備えるようにし 留まらない、鶴ヶ城天守閣 たいと念じております。

会津人の悲願ここに再現

松平参議院議員

復元の特異性を物語るもの として、ご同慶に堪えない ところでありませう。
明治七年、私共の祖先の 悲涙の中に打ち壊された天 守閣の復元という好機にめぐり 合せて一人と致しまし して、私はこの建物をどの ようなものとして後世に伝 えるかに重大なる責任を痛 感いたしました。

人の教訓として

星野在京会津会々長



その後、東京に帰ってか ら男の子二人が非常に生活 態度がひきしまつて来たとい うのです。それは会津に 旅行したおかげですね。そして 飯盛山の上から、南 鶴ヶ城を望めば、という天 守閣が杉木立の間から見え たなら、どんなに感激深い ことになるだろうというお 話でした。



また天守閣が先人の霊 をお慰めし、遺徳を私 共の今後の歴史に創 造と飛躍の輝かしい 一頁を飾る大きな礎 石となり、二度と再び戦 争の惨禍を繰り返さぬ誓 いと、祈りをこめて平和 造と繁栄の象徴として建設 されたことに思いをいた しますと、私共はこの理 念と理想を堅実に守り、 心を一つにして国家はも とより郷土の発展に最善 の努力を傾注しなければ ならないと存じます。

会津の創造と飛躍の象徴 市長式 辞から

幾人かの老若男女の手を 意ってその美しく深い誠 意の結晶に心から泣いた のであります。かかる 筆舌に尽し難い行為に対 する感謝の念は私の生涯 にとって決して忘れるこ とのできないことであり ます。

私は今、白亜目にしむ 五層の天守閣を仰ぎみ、 静かに往時を懐古し、さ らには今日に至るまでの

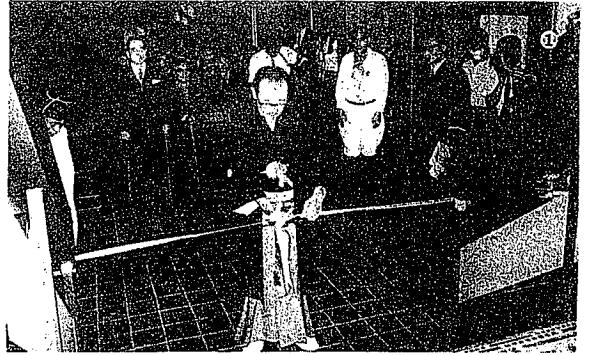
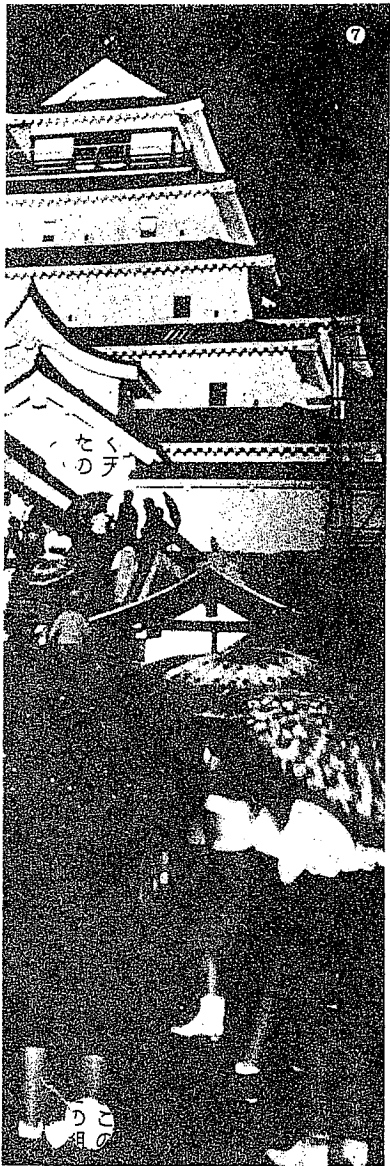
もそもそ天守閣復元が 話題となりましたのは、 昭和二十四年市制施行五 十周年記念式典に臨ん で、私が日本史の歴史、特 に会津の歴史における鶴 ヶ城天守閣が果たした大き な役割を思料し、また歴 代領主、領民の心のよりどころであつた鶴ヶ城天 守閣の復元こそは、先人 の霊を慰め遺徳を鎮仰す ることになると共に歴史 の変遷を物語る唯一 の貴重な資料として 後世に残すべきであ ると提言してからで あります。

以来糸糸曲折を経て昭和 三十七年市は文部省文化 財保護委員会へ復元陳 情書を提出し、国の指定 文化財の現状変更の許可 をお願いしたのでありま す。幸い原型復元という 厳しい条件で昭和三十八 年四月二十四日付で文部 省から許可が下りたので あります。この間におけ る提言者の私に対する賛 成反対の攻守両面の風当

生命を捨てても完遂すべ きであり、そのことによ っで私が非難をそりを受 けてもいさぎよく甘受す べきであると決意をいた したのであります。昭和 三十九年六月、私は計画 に練りに練つた復元計画 案を提出、慎重審議をお 願ひしたのであります。 議され、同年九月二十三 日城跡で株式会社間組の

東京の私の知人が、男の 子二人をつれて、会津を訪 れたとがあります。むろ ん裏登りの景色よかつた こともほめておりましたが 野口英世博士の生家と記念 塔をみ、そして飯盛山に 登り、白虎隊の墓に参拝し ました。これはひと えに市長さんのアイデアが 良かったんだらうと思う次 第です。

この威風



①九月十七日午後五時、花火が十数発激しく鳴り大太鼓が響く。走り長屋の天守閣に通じる階段前でテープを切る横山市長。ここに記念すべき大式典の幕は切って落された。

②天守閣一層で行なわれた神事。雅楽の調べとおごそかな祝詞は、この日を待ちわびた人々の胸に深くくいこんでいく。

③「多くの人々のご協力でここに天守閣は落成しました」、祭文を読みあげる市長の声もとだえがちだった。

④神部間組社長の玉串奉奠——晴れやかな表情の中に目にはキラリと光るものがあった。

⑤神事終了後、五層から盆地を望む、右から松平参議院議員、中村運輸大臣、木村知事、横山市長、岸市会議長。

鶴が城とぼくの家

謹教小六年 菅 桂一



全市民が久しく待ち望んでいた、鶴が城の天守閣が此のたび見事に、完成された。

会津という名は、今からおよそ二千年ばかり前に、つけられたといわれている。この若松市は昔黒川の領地であった。そののち伊達政宗公が城主となり、一年ばかりいたあと、天正十八年に蒲生氏郷公が城主となつて、鶴が城を改築したのである。また黒川の里の名を改め、若松としたのである。

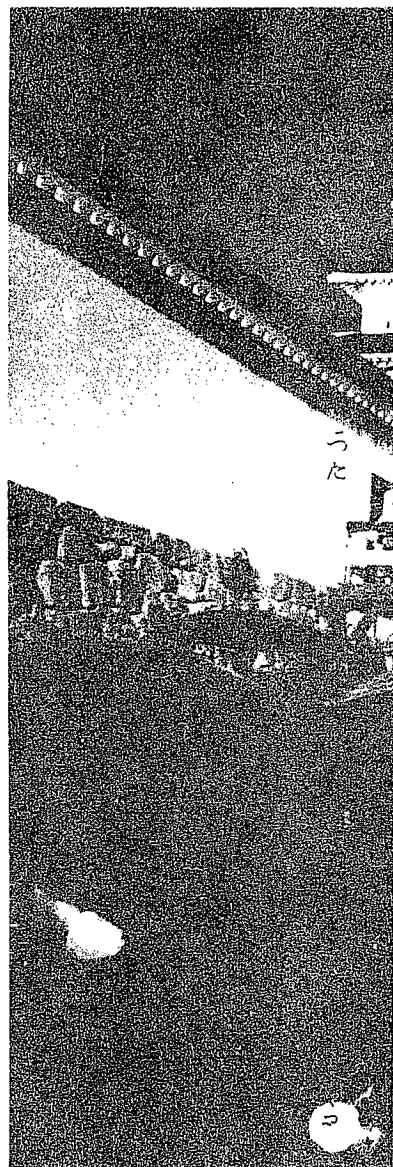
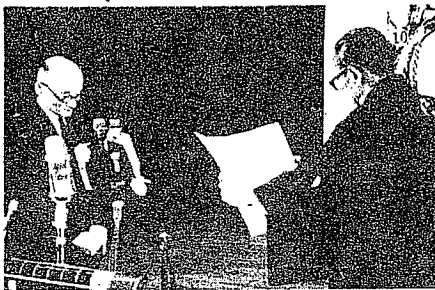
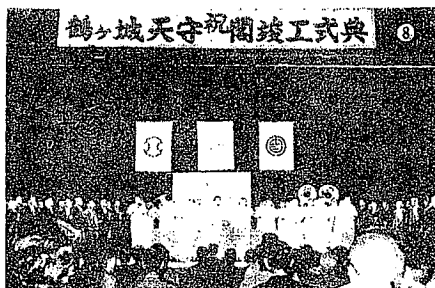
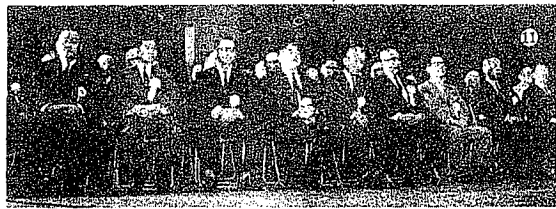
ぼくの家の先祖は、城に勤めていた武士と、いうことである。その人が手がらたてた時に、との様からいただいた、かきつけがある。それには百石をあたえると、いうようなことがかいてあるそうだ。ぼくもみてみたが、ぜんぜんながかいてあるか、わからぬ。おばあさんに聞いてみると、そのほか、いろいろなかきつけがあったというのだが、火事にあつて、今はその一つだけ残つ

たのだという。またその人が、使っていたと思われる刀が、ぼくの家に二ふりある。両方とも大刀である。かた方は赤ざやでそのつばが、とてもねうちがあるということだ。もう一ふりは、この間父がかんていしてもらっていたところ、鎌定というものだ、わかった。もちろんほんものである。

父は、刀にきょうみがあるらしく、時々手入れをしている。ぼくも、あまりわからないが、見ている。赤ざやのほうは、かざり刀ということだ。たぶんその人は、とこの間にかざっていたのだらう。

また、おばあさんの父にあたる人も、お城に勤めていたと、いうことだ。ぼくの、ひいおじいさんに、あたる人だ。そのひいおじいさんは、いくさに出たことがあつたと、おばあさんから、聞かされたことがあつた。

目次



- ⑧ 遠く青森県からかけつけた下北会津会の人たち。
- ⑨ 夜空にくっきりと浮かび上がった天守閣。雨にもかかわらず多くの市民が詰めかけた。
- ⑩ 舞台を市民会館に移しての落成式典全景。
- ⑪ 広い市民会館も立錫の余地もない程、喜びの人々で一ぱいである。
- ⑫ 天守閣再建に物心両面にわたり率先協力された人々に感謝状が贈呈された。
- ⑬ この日のために全国各地から出席された来賓。
- ⑭ 市長、市議員などの主催者席。
- ⑮ 会高生による白虎隊剣舞の奉祝芸能。
- ⑯ 会場前に設けられた市民御神酒場——一人一人の表情に天守閣完成の喜びがかくしきれない。

歴史の街会津若松

を育てるために

謹教小六年 佐久山 慶子



鶴が城とは、昔名七代直盛が、今の鶴が城と同じ所に館をたて、東黒川城とよんだのが始まりです。しかし当時の建物は、今とはくらべものにならないほど規模が小さく、天文七年（一五三八）の火災で、焼けました。それから何年か後、天正十八年（一五九〇）蒲生氏郷が城主となり、文禄元年から、翌年にかけて、天守閣を築き、黒川の町割りも改め地名を若松、城を鶴が城としました。

その後一六二七年に加藤嘉明が鶴が城に入りました。今の天守閣は、加藤が建てかえたお城と外観は同じで変わった所といえば、カワラでつくった「シャチ」が「銀シャチ」になり、赤がわらがネズミ色になったという事です。

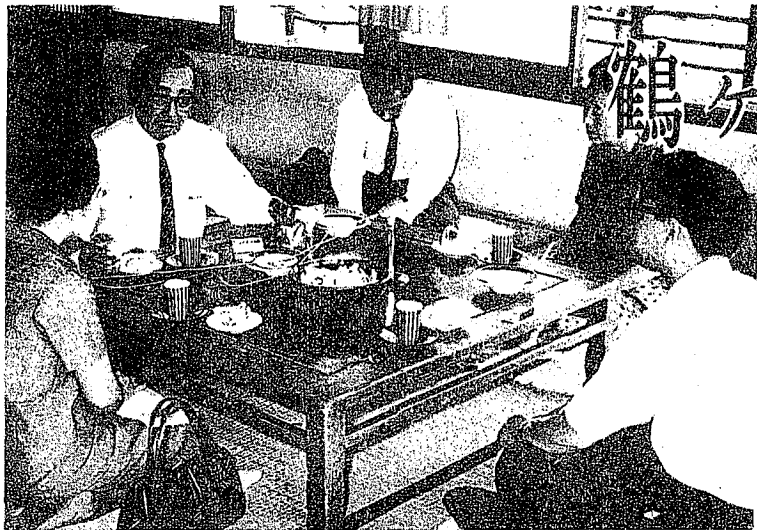
明治二年、若松県庁が、本丸内に置かれ、明治六年十二月、大町の庁舎に引越すまでは、県が管理をしていました。しかし管理人

がなくなってきたら、お城はあれるばかりです。それで明治七年七月鶴が城はなかばあらかたもなく、取りこわされました。それから九十一年、再び鶴が城が築かれました。それは、名城鶴が城の名にふさわしいりっぱなものです。本丸内にさん然とたつ鶴が城。

鶴が城再建という会津の人々の願い、その願いが、今年やっとかなったのです。りっぱなお城も、みんなの心しだいで変わるものだと思います。これからも奉仕に勤めたいと思います。いつまでも、名城鶴が城という名にはじないよう

に、りっぱなお城であってほしい。これは、私の考えではありませんが、会津の人々みんなの考えもそうだと思います。白虎隊で有名な会津若松。

鶴が城の再建によって、美しいお城をもち、白虎隊のたくましい精神を受けつぐ私たちは、会津に生まれたい誇りと希望をもって、歴史の町、会津若松をよりよい町に発展させていきたいと思えます。



天守閣完成の喜びで話題つきな座談会

鶴ヶ城復元に至るまで 市長を囲む座談会

白虎隊死守の天守閣 百年目に竣工

お城を見ながらの座談会ということで、城跡内の西沢別館にお集りを願った。

まず九時十分、田中先生が到着、次いで高橋さん、舟田さんと、出席者がそろったところで、九時三十分から竹田秘書課長の案内で天守閣の内部を見学していただいた後、十時から座談会に入った。

史料を保管するため

初めの計画は博物館

市長 私が天守閣の復元を考えたのは、最初からでは設がないため、年々なくなっていく。これはいけないと考へ、後世の資料として完全に残すためには博物館建設が必要と考へた。

しかし本市の財政事情からして、博物館を作るに必要な一億円余りの高額なお金を作り出す余裕は、十年二十年先の財政を見通しても、とうてい不可能なことだった。

困ったと思っている時、私の脳裏に別の考えがうかんだ。それは天守閣が破却にいたった悲史ですね。天守閣は明治七年、時の政治権力によって取りこわされたものなんです。しかもその時、我々の先輩は再三再四、涙の嘆願をしますよ、政府に対して天守閣だけは残してくれと……

ところが、山県有朋が一番会津藩を憎んでいて、軍閥をかかさうことをきかなくて、そのために政府はやむなく天守閣破却の命をくだしたのです。それで、

戦争で焼失したりこわされたのではなく、平和になつてから薩長政府の会津に對するにくしみから、すなわち会津おそろしさに、政治権力でこわしたものである。だからこれを復元することが、当時悲憤の涙で別れを惜しんだ人々に對する我々の報いる道であると考えたのです。それから、白虎隊士は天守閣が落ちたと思つて割腹した、その氣持は無視してはいけない、と議論もあつたが、白虎隊士が命をかけて愛した、どの天守閣ならば、天守閣を復元することによって、その靈をなぐさめる必要があると思つたのです。

話をとにもどすと、一つは博物館をどうして作るかということ。ところが、先にもいったように、金がかかるので、こういう事業は寄付、補助、政府の起債によらなければならぬ。ところが博物館を建設するから寄付、となるとお金を出す人はごく少数なんだ。そこで考へたのは、先人の靈をなぐさめるために天守閣の復元をはかると同時に博物館の構想をそれに結びつけたんです。天守閣なら庶民的に人気もあるし、そこに理解も協力も生まれ、寄付も集まるということなんです。そこで天守閣を建てて内部を博物館にするという一石二鳥の考へを持つたことが、天守閣を復元に踏み切つた動機なんです。

田中 たしかに真実の歴史を知らない人は、落城の悲

泣かされた数々の寄附
高橋 私の方の婦人会は、天守閣再建賛成の署名運動をしたんですが、これに署名したら寄附を取られるでしょうとみなさんおっしゃるので、どなたも寄附の盛んに宣伝したんです。市からの呼びかけの寄附は

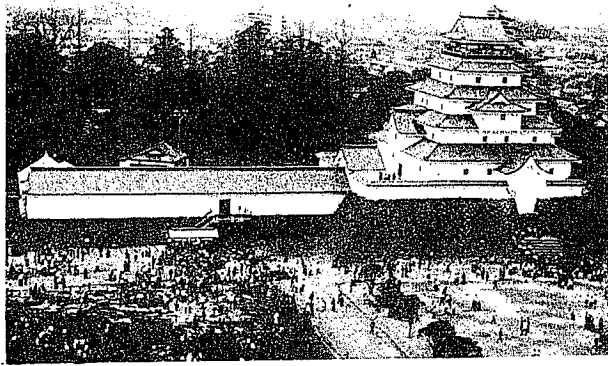
市長 そこで寄附のことで考へていただきたいことは私はこの天守閣建設で、もちろん寄附をあてにしました。が、当時から私がいつたが、今までのPTAの寄附や義務的の寄附のようには、どこの町内にくらとか、どこの組合いかななどという割

特定者だけなんです。高橋 築城がはじまつたら、婦人団体でも何かご協力したいというので、名士演芸会を開いて、ご協力したうなわけですけれど、市長 あの名士演芸会の利益を、少額ですがとって代表の方々が持つて来られましたが、少額どころじゃありません。この金を集めるには婦人会の役員の方々が、おそろく十日位かかつたと思う。役員の方々の寄附を集めた苦勞がよくわかる。そうした精神的苦勞によって集まつた収獲と考へると少額どころではありません。それからもう一つ重大な意義があります。それは婦人団体が天守閣に協力しているという、この姿勢です。これが自發的寄附のムードを作る大きな力となつたんです。その点では本当に感謝しました。それに続いて花柳流や西川流の舞踊大会が次から次へと賛同していただいて、ご芳志があらまりました。これがまた寄附ムードに力になつたんです。

感無量、許可は原型復元が条件

再建で多くの問題

舟田 これまでの苦勞を考へて喜びひとしおと思ひます。そのことを商工会議所に話したら、当時の田島会頭が賛成して多くの人々に働きかけた。昭和二十九年三月市会には天守閣復元が



空から見た天守閣 (23日午後2時写す)

この日お待ちわびた市民は、開門と同時に続々と入場した。県外の団体客も次々と訪れ、この日の入場者数三千九百三十二名、総収入三十九万九千二百四十円であった。

天守閣入場者数八千四百五十五名、総収入五十八万六千四百九十名、総収入九十七万七千五百二十円。二十一日は入場者数四千五百五十二名、総収入三十二万五千二百円。二十二日は入場者数四千二百五十二名、総収入三十二万五千二百円。

今年はおおむね、天守閣の五層から本丸まで放されたこと

この一週間の素顔

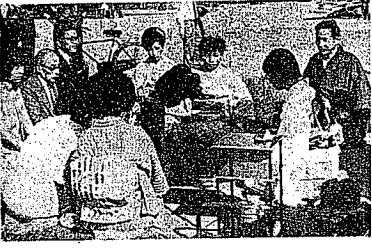
天守閣が一般公開された九月十八日は台風二四号の影響で強風が吹き、雨雲が低くたれこめて、時おり雨がばらつくといふ不順な天候だった。それでも、開門前から入場券売場は長い行列ができて係員をかわらせた。行列は一日中続き、さしもの広いお城も本丸はもうらん、石垣の上まで人々の気持をいやが上にも祭り気分がにぎやかであった。

午後六時十分、護国小校庭を出発した八千名参加の子供会提灯行列が神明通りに入ってきた。やぐらの上から市長や関係者が迎える中を「ばんざい」を叫びながら感動的なシーンを展開した。神明通りは火の海となり、まつりの開幕にふさわしい光景を展開した。

二十三日、会津まつりの庄巻白虎行列が行なわれる出陣前の風景は、NHKテレビ、スタジオ一〇二の電波にのって、全国に紹介された。

この日お待ちわびた

天守閣 初日に四千人入場者



本丸での茶会

天守閣を背景に往時をしのばせる殿様、若殿、家老、白虎隊などひとときわあざやかに辰辰戦役出陣をくり広げた。

お城も、街も本日ははじめての一日二十五万人の出入りがあった。ある老人は「六十五才の今日まで、会津で暮らしてはいますが、お城はもとより街の中にも、空前に人が出たのははじめてです。この多くの人々が了した。



3日間盛大に行なわれた盆踊り

である。家臣の一人が、馬ですばやくかけより神矢をひろって市長に手渡すと、周囲から大きな拍手がわき起った。

出陣の儀も済み、いよいよ白虎行列の出発である。夜は盆踊り大会が行なわれ、天守閣落成を祝う人々は四重、五重の踊りの輪を作りおそくまでにぎわった。

二十四日会津まつりの最終日である。午前十一時から白虎隊幕前祭が行なわれ、隊士の霊をなぐさめるとともに天守閣落成が報告された。

各町内、各事業所が例年になく腕をふるい、数多く参加した山車行列は、それぞれ趣向をこらした華やかなもので、まつりの最後を飾るにふさわしかった。

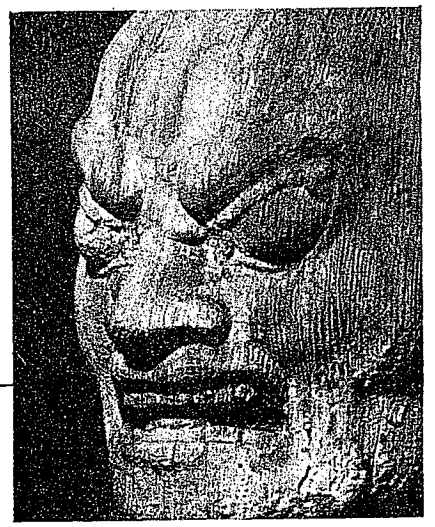
会津の歴史を知るために

会津若松史 全13巻

会津若松史のずっしりとした重手ごたえ、それはそのままこの本に書かれた会津の歴史の重味です。豊富な図版とやさしい文章——それは高校生でも気軽に読みこなせます。

会津若松史の静かなムードは今や全国の大学や図書館、そして研究者の間にひろがり、そして今や遠く海を渡って米國ハーバート大学からも注文を受けています。

別巻Iは残部がなく頒布出来ません。来年再版の予定ですのでそれまでお待ち下さい。



全巻予約者以外はお分け出来ません。

◆予約希望の方は葉書に住所、氏名明記の上全巻予約すると書き、至急申込み下さい。残部極少。

◆パンフレット希望者は、申込下さい。通史・史料編 1,500円 別巻 2,000円 送料100円

申込先 会津若松市東栄町3-46 会津若松市役所内会津若松史出版委員会 TEL②6115

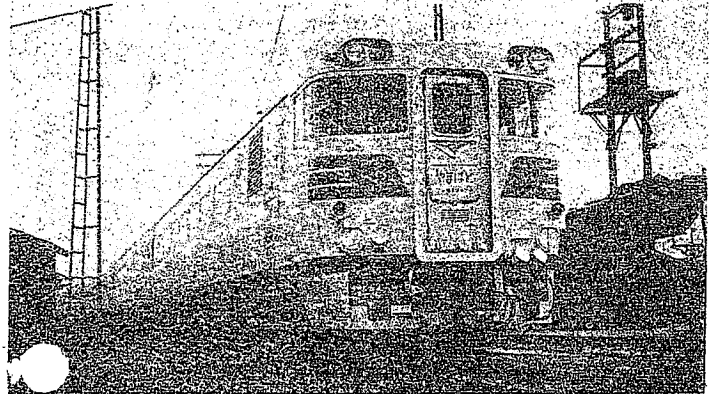
会津若松 市政だより

204号
昭和40年10月1日発行
第2市政だより

人口動態 (9月1日現在)

世帯数	22,447(+29)
人口	105,518(+246)
男	50,210(+155)
女	55,308(+91)
出生	215件
死亡	72件
転入	442件
転出	339件
結婚	22件
離婚	5件

昭和26年7月6日第三種郵便物認可



一日から磐西線に特急

東北の支線では初めて

磐越西線に十月一日からは「やまばと」で、六両編成、同一上野間二千枚計二成、一等座席四十八、二等座席三百二十二でいづれも指定です。

東北地方の支線で特急が走るの初めてで、所要時間がこれまで最高時間より約三十分短縮され、四時着が午後二時十分(所要時間二十五分)で到着できることになり、一日で仕事を終えて帰ることができ、会津はぐんと東京に近くなりました。

一日から走る特急の名称は「やまばと」で、途中停車駅は上野と同じ。

運賃料金は、会津若松—上野間は一等二千八百十円、二等千四百十円。会津若松—郡山間は一等千十円、二等四百九十円。

このほかに郡山迄は自由席特急券でも乗れますが座席の指定は出来ません。但し会津若松—郡山間は次の枚数までは座席指定ができます。

座席指定券の枚数
 一等若松—上野間 五日から十月十五日(金)まで、ただし、受託金融機関

特急やまばと停車駅と発着時刻

9:45発	会津若松	19:14着
↓	猪苗代	↑
10:23発	郡山	18:46着
↓	黒磯	↑
11:02着	宇都宮	18:01発
11:15発	上野	↑
↓		17:58着
12:04着		↑
↓		17:08発
12:45着		↑
↓		16:26発
14:10着		↑
		15:00発

4時間25分 所要時間 4時間14分

農家のみなさんへ 住宅建設資金を貸出

昭和四十年年度第二回農山漁村住宅建設資金の貸付を希望の方は、各金融機関の申込みが、各金融機関の申込みの限度に達した時は、受付を締切りします。

本年度は特別個人住宅建設資金貸付方針によるほかの方法で実施します。ご希望の方はお申し込みください。

申込受付期間 九月十五日(金)まで、申込状況により、申込回数、しない金

申込受付戸数の限度 戸数は県内で百七十四戸

申込場所 市内各金融機関

申込受付戸数の限度 戸数は県内で百七十四戸

申込状況により、申込回数、しない金

申込受付戸数の限度 戸数は県内で百七十四戸

計八十枚

なお、会津若松駅では特急、寝台、座席指定券をお求めの乗客は、駅構内の「みどりの窓口」に申しこむこと

お乗りになる日の七日前、九時から発売している

当日の発車時刻前は窓口が混雑するから、事前にお求めになるよう呼びかけています。

超過した金融機関へ振替えます。

貸付対象面積の特別適用戸数、県が個別に設計指導を行なう者のうち、県ごとに当該課における昭和四十年年度第一回の選考合格戸数の一割をこえない範囲内で一戸当り六十七平方メートル(約二十坪)まで貸付けることができます。

くわしくは、市建築課へお問合せください。

無料法律相談所を開設

無料法律相談所を開設

期日 十月十日(日)

時間 午前十時から午後三時まで

場所 市公民館

主催 会津若松市・福島県弁護士会若松支部

お困りの方には 裁判費用を立替えます

離婚・財産分与・相続・土地・建物・貸金・損害賠償・慰謝料、その他の争いに費用を立替えて弁護士をつける、裁判費用立替の法律扶助の方法もあります。

どうぞ、お気軽にご相談ください。

県機械貸付を受付

県では昭和四十年年度分の機械設備貸付申し込みの受付をしています。

貸付ご希望の方は、十月二十五日までに市商工課にお申し込みください。申請用紙は同課にあります。

もみじは背あぶり山で

見ごろは10日ごろから

秋の行楽は

空中ケーブルで背あぶり山自然公園へ

心に鳴らせ交通安全の鐘

—交通ルールをよく守ろう—



秋の交通安全運動が九月二十五日から十月四日まで十日間、心に鳴らせ交通安全の鐘をスローガンにくりひろげられています。市内ではことし一月からすでに二百六十四件の事故が発生し、死者五名、負傷者二百五十四人を数えています(九月二十五日現在)

今回の運動では人命尊重の考えを徹底させるために歩行者の交通事故をなくし、運転者には正しく安全な運転の指導に全力があげられています。

運動目標は①歩行者の正しい横断②正しく安全な運転③踏切の安全確保④安全運転管理と運行管理体制の強化⑤道路を広く美しくの五項目です。

運転手の雇主は...

①運転手が睡眠不足や二日酔いなど、正常な状態ではない場合は、ゆっくり休ませるから運転させること②酒のみ、無免許運転は絶対させないこと③スピード違反を誘発するような時間の拘束をしない、時間に余裕をもたせて運転させること

秋、澄みわたる青空、そのあたたかな心を持ちよして目にしむ赤い羽根の色...それが共同募金運動...十月一日から赤い羽根です。

共同募金運動がはじまりました。あかるく、美しく、みんな、なほ、昨年度の市の各施設その他に対する配分額とならって幸せにと、お互

みんなの胸に赤い羽根

共同募金運動がはじまりました。あかるく、美しく、みんな、なほ、昨年度の市の各施設その他に対する配分額とならって幸せにと、お互

歩行者は... ①道路を歩く時何列にもなつて歩かないで、必ず右側を一直線に並んで歩くこと②道路を横切る時は必ず横断歩道を渡る。横断歩道のないところでは、車の直前直後は歩かず、左右をよく確かめてから横断すること③信号機に従って「青」になってから歩くこと④幼児をつれて歩く時は、幼児を車道から一番遠い側を、保護者は車道側を手をつないで歩くことです。

運転者は... ①速度制限を守る

こと。スピード違反は事故のもとです②横断歩道の直前(停止線)で一時的停止

39年度共同募金配分及び40年度申請額調査

区分	39年度配分	40年度申請額	摘要
保育所	837,900	2,659,590	9カ所
母子寮	111,600	227,300	2 "
長寿園	272,300	150,000	1 "
児童遊園	84,600	2,300,000	1 "
授産施設	59,800		1 "
季節遊戯場	38,000		11 "
児童遊園	40,000		2 "
和光寮	80,000	150,000	1 "
その他	1,477,718	1,201,000	
計	3,197,318	6,687,890	

○ジフテリア予防接種日程○

場所	接種日	時間
永和小学校	11月11日	13.30~14.30
神指連絡所	"	14.00~15.00
一箕公民館	12日	13.30~14.30
東山連絡所	"	14.00~15.00

門田公民館	13日	13.30~14.30
鶴城小学校	"	14.00~15.00
日新小学校	14日	13.30~14.30
城西小学校	"	14.00~15.00
城北小学校	15日	13.30~14.30
行仁小学校	"	14.00~15.00
謹教小学校	16日	13.30~14.30

無料のジフテリア予防接種を実施

該当者 来年四月小学校へ入学する者 ▽手数料無料 ▽注意 検査日には必ず母子手帳または予防接種手帳をお持ちください。都合のよい会場で受けることができます。

麦種子の消毒

農事メモ

麦類は種子から薬液に三十分から一時間ひ伝染する病害がきたし、種子の外部に寄生してわめて多く、種子の内部で生存している病菌を殺しておき、その度さらに風呂湯(大麦、裸麦、稗氏四六度)に調整して火を完全(大麦斑葉病、赤い雪腐病、赤はんにしてふたをします。かび病、大麦網斑病および雲形病など)病害が多いので、消毒の注意として七、八時間たつてから種子消毒法があり、これにはいろいろありますが、理て陰干しするか、すぐほ種想的な方法としては、水銀剤(メル、ウスプリン、リオゲン錠など)を千倍から二千倍液とし、薬剤によつては使用量とひたす時間が正確に行なうことがたいせ多少異つていますが、このつです。

果樹園の清掃

果樹園内の清掃は、翌年じゅうぶん腐らせた後で果の病害虫の発生に直接関係する。樹園に施用することです。もあるし、落葉も有機物の補給にたいじな仕事です。気温がさがるとつれて、葉が落ち、いろいろな病害虫のよれ越冬の場所になり、そのほかひまをみて樹上分することはたいせつなことです。

落葉をかき集めて焼き捨てることは完全な処理の方法ですが、果樹園に有機質を補給する点から考へると、どこどこにタコツてくださ。 (市農業指導課)